

11月7日 (金)

電気新聞に掲載されました！

ダイナミックソーラ株式会社

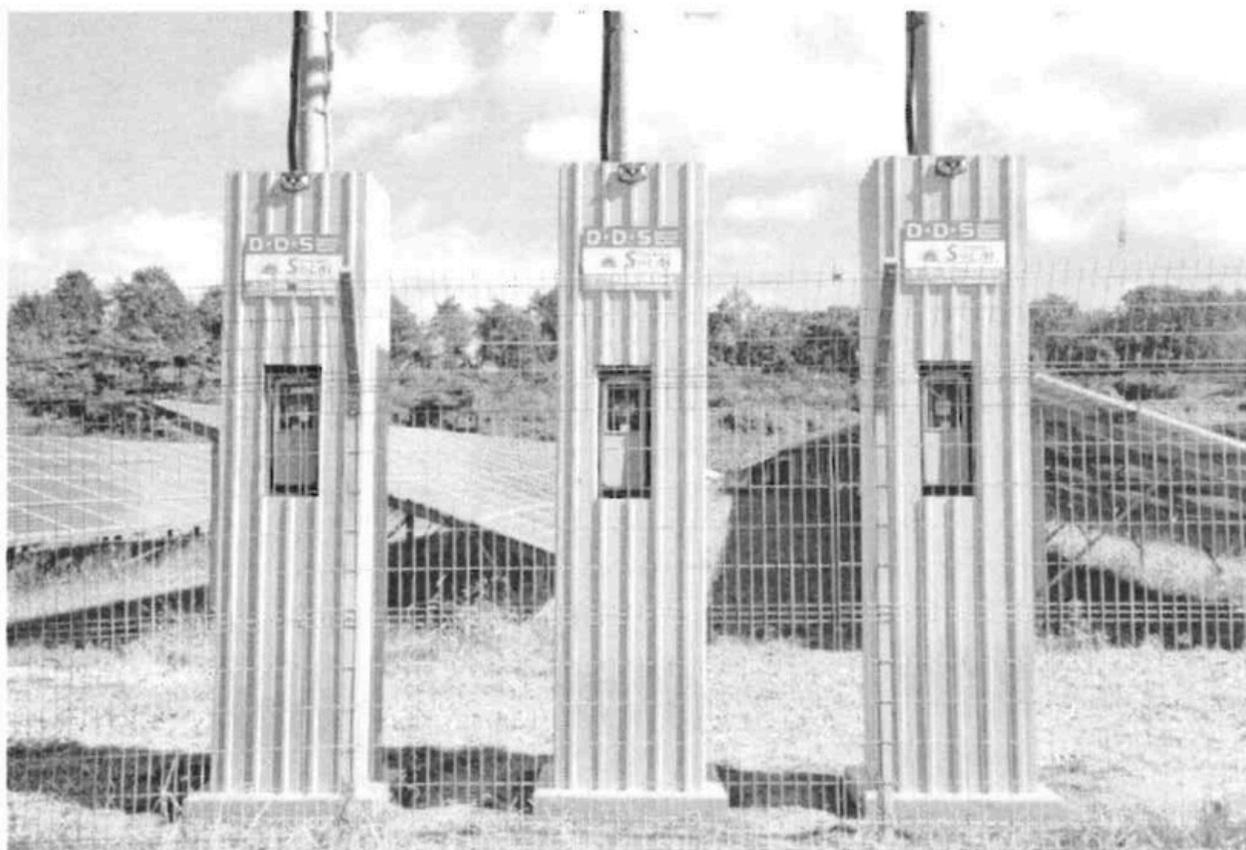
ダイナミックソーラ

太陽光発電システム全般の総合管理事業を手掛けるダイナミックソーラ（東京都港区、関山昇代表取締役）は、ケーブル盗難防止対策に関するサービスを2024年6月から開始した。同社が提供する太陽光専用盗難防止対策「DDS（ダイナ

ミック・ディフェンス・システム）」は、盗難被害率が高い一号柱を鉄板の防護壁で覆うとともに、集電箱下部から出ているケーブルにウレタンやコンクリートなどで直接加工を施している。こうした目に見える防犯対策や物理的な対策をして大切

なケーブルを守るの大きな特徴だ。

一号柱に施工した鉄板の防護壁



従前のケーブル盗難対策は、監視カメラやセンサーライト、警報器の設置が一般的だが、これらの対策をしていても太陽光発電所が市街地や住宅街から離れた山間に設置されていることで人目に付きづらいことから週

物理的な対策でケーブル引き抜きを防止

1〜3回盗難に関する駆けつけ対応が発生していた。盗難が発生しても即座に駆けつけることが難しく盗難復旧作業中に繰り返す盗難被害に遭うケースもあるようだ。

その点、DDSは一般的な対策に加え、外部にむき出しになつていた一号柱のケーブルを鉄板で囲ってガードすることで、遠くからでも対策が取られていることを分らせることから防犯効果が期待できる。一号柱、集電箱下部の対策だけでなく、集電箱内のケーブルも切断されないよう扉には通常の鍵に加えて特殊ダイヤル錠も設置しており、セキュリティ対策も万全だ。

同社は25年9月末までに関東圏を中心に全国各地で注文を受けており、受注件数は500件近くになる見通しで施工後の盗難被害報告は0件。盗難による発電所の稼働停止期間が発生していないため、売電収入やエネルギー供給の安定化に大きく寄与している。同社は太陽光発電の拡大を後押しするため、これまでの施工実績や盗難防止効果を基にDDSの普及促進を図っていく考えだ。